

ご存知ですか？

子どもたちを取り巻くケータイ(スマートフォン等)の危険性

スマートフォン：パーソナルコンピュータなみの機能がついた携帯電話

被害者にも加害者にもなる「ネットいじめ」

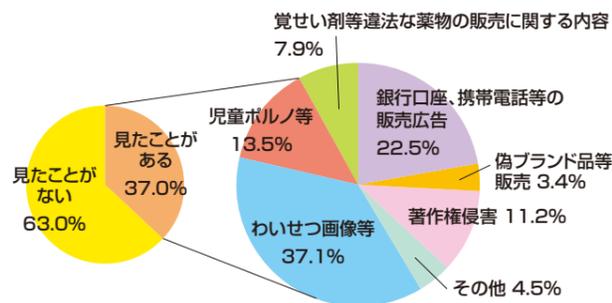
掲示板・ブログ[※]や学校裏サイトへの誹謗中傷などのいじめの書き込みがあります。それがトラブルや事件に発展することがあります。



※ブログ:インターネット上で利用できる簡易日記サービス

「有害サイトの閲覧」

有害情報の中には、アダルトサイトや薬物販売、出会い系サイトなどがあり、「ワンクリック詐欺」等の被害に遭う場合があります。

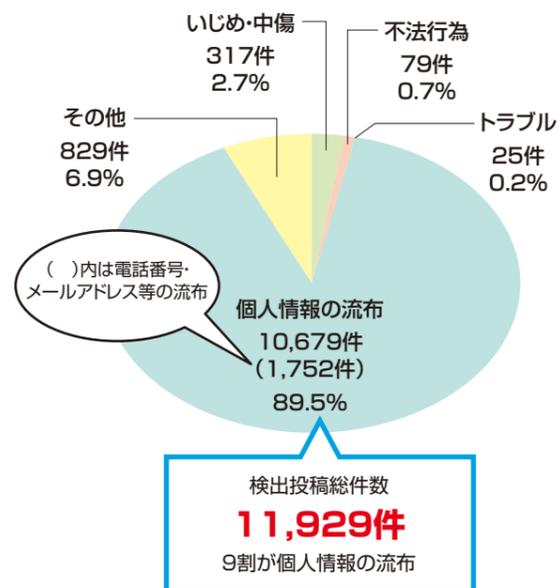


10歳代の携帯電話での違法・有害サイトの閲覧状況(京都府) ※

※インターネット利用に関するアンケート(京都府警H23)

「個人情報の流布」

インターネット上で電話番号やメールアドレスなどを書き込んでしまい、広告メールが届いたり、知らない人から電話がかかったりすることがあります。



ネット監視による不適切な書き込み検出件数 (京都府 平成23年4月～平成24年3月)

無料のゲームで「高額請求?」



無料ゲームでも「有料アイテム」を次々と購入して、1ヶ月に10万円使った例もあります。

「ケータイ依存」

夜遅くまでメールやインターネットに夢中になったり、勉強中や食事中も手放せなくなると、学力低下や生活習慣の乱れにつながります。



どうしても、子どもにケータイを持たせる必要があるなら 家庭でルールを作り、守らせましょう!

ルール作りのポイント

- ①危険性を子どもとともに理解し、ルール作りの必要性を伝えましょう。
- ②一方的なルールにならないように、必ず子どもと話し合いながら決めましょう。
- ③ルールを決めて終わりではなく、しっかり守られているか、確認しましょう。

ルールの例

- 1ヶ月()円以上は使わない。
- 夜()時をすぎたら使わない。
- 自宅では、リビングに置く。
- 食事中には使わない。
- お風呂に持ち込まない。
- 困ったときは、保護者に相談する。
- ルール違反をしたら、使用を停止する。



スマートフォンにも **フィルタリング**を設定しましょう

フィルタリング：子どもに見せることが好ましくない有害情報の閲覧を制限するサービス

スマートフォンは、一台でインターネットに接続する方法が2つあり、2種類のフィルタリングが必要になります。



スマートフォンでは、フィルタリングやアプリの利用制限を行う管理ソフト等を保護者自身がインストールして使用させましょう。(具体的な設定方法は、販売店で尋ねるか携帯電話事業者のホームページを参照してください。)